

うっしっしいー情報2013

11月市



豊岡農業改良普及センター

11月13日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が57万円、雌が50万7千円でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	8	1.015	542,588	10	0.881	473,550	18	504,233
篠山	3	0.985	591,850	7	0.753	408,150	10	463,260
丹波	24	0.978	555,406	15	0.849	477,680	39	525,512
朝来	6	0.971	560,875	1	0.754	430,500	7	542,250
播磨	18	0.986	533,808	10	0.827	426,405	28	495,450
美方郡	74	0.992	587,120	75	0.868	548,870	149	567,867
豊岡	21	0.967	546,900	22	0.898	494,407	43	520,043
養父	23	1.018	590,602	20	0.838	481,320	43	539,773
摂津・神戸	1	1.050	652,050	1	0.871	520,800	2	586,425
県北C	2	0.861	462,525	1	0.746	429,450	3	451,500
市場全体	180	0.989	569,514	162	0.858	506,612	342	539,718

11月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	41	1.037	610,870	32	0.897	590,953	73	602,139
2	丸宮土井	24	0.964	591,500	15	0.835	525,630	39	566,165
3	芳山土井	28	0.990	548,775	20	0.872	553,508	48	550,747
	総計	180	0.989	569,514	162	0.858	506,612	342	539,718
4	丸富士井	32	0.925	554,236	17	0.835	487,076	49	530,936
5	福芳土井	24	1.046	564,594	36	0.889	493,500	60	521,938
6	照一土井	6	0.953	556,675	10	0.818	446,880	16	488,053
7	照忠土井	7	0.933	526,650	4	0.825	416,063	11	486,436
8	千代藤土井	4	0.978	579,863	11	0.859	446,345	15	481,950

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A++ → A+	A	A+	B	A	A+++
2	丸宮土井	B	A → B	A+	A++	A++ → A+	A++
3	芳山土井	A++	A++	A+++	D	A+	A+ → A+++
4	丸富士井	A	A++	C	C	A	A++
5	福芳土井	A++	B	A++	C	C	A+
6	照一土井	B → C	A++	C	A+	A++	A++
7	照忠土井	B	A++	B	A+	A++	A+
8	千代藤土井	A → B	A++	D	A	A+	A+++

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成25年7月現在)

出荷日齢と出荷体重について(雌子牛編)

前回の情報では、去勢子牛の出荷日齢と出荷時期について考えて見ました。今回は雌子牛について考えてみたいと思います。

1 集計条件

期間：平成23年10月市～平成25年9月市（2年間）

頭数：雌子牛2,779頭

データ：普及センター調べのため本人落札も含む

2 種雄牛の影響について

出荷時における日齢体重別の期待育種価割合を見ました（表1）。その結果、DG1.05以上もしくは、DG0.7以下の極端な個体を除き、育種価評価のA割合がDG0.85未満の群(L群)では50%程度で推移していることに対し、0.9以上の群(H群)では75%程度で安定しています。これは、去勢子牛のDGが大きいほど、種雄牛の育種価評価のA割合が高くなるのとは異なり、ある一定の遺伝的能力があれば飼養管理によって発育が改善される余地があるといえるかもしれません。また表3、4でみるとDG0.85あたりを境に、平均価格対比以上かどうかの分岐点になっているようです。

表2 集計期間中の種雄牛割合

種雄牛	頭数割合	育種価 (枝重)
芳山土井	19.2%	A++ 54.627
福芳土井	18.7%	A++ 56.014
菊西土井	12.8%	A+ 38.700
丸宮土井	11.2%	B 17.752
照一土井	8.7%	C 12.807
丸富土井	5.0%	A 27.357
照忠土井	4.2%	B 19.221
丸福土井	4.0%	D -39.450
その他	16.2%	-

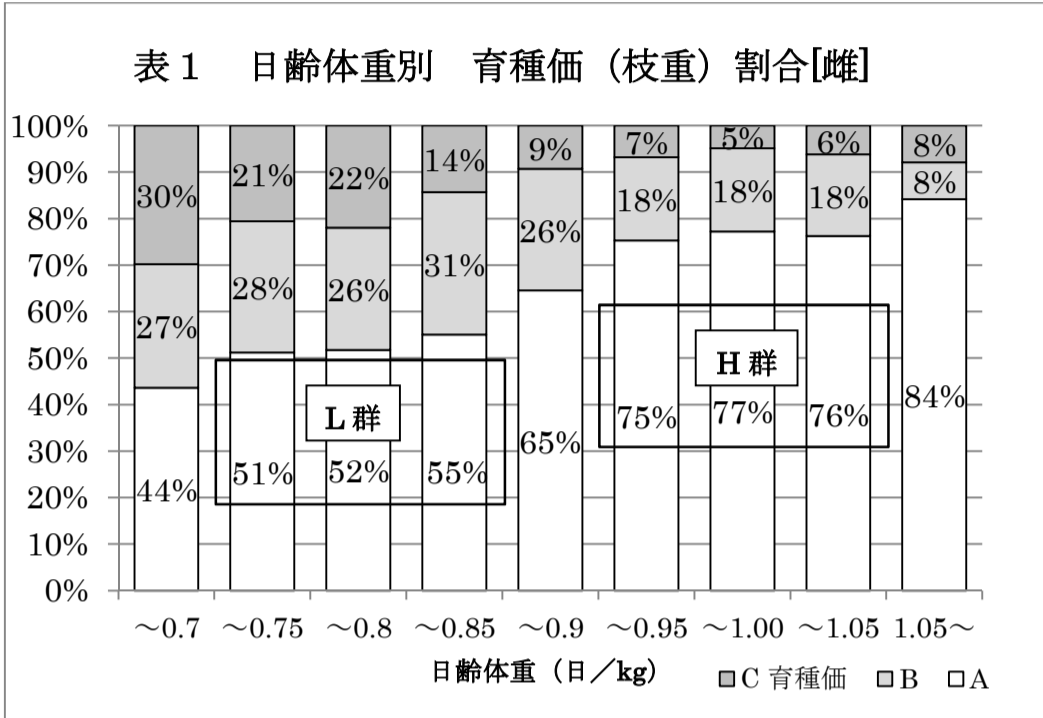


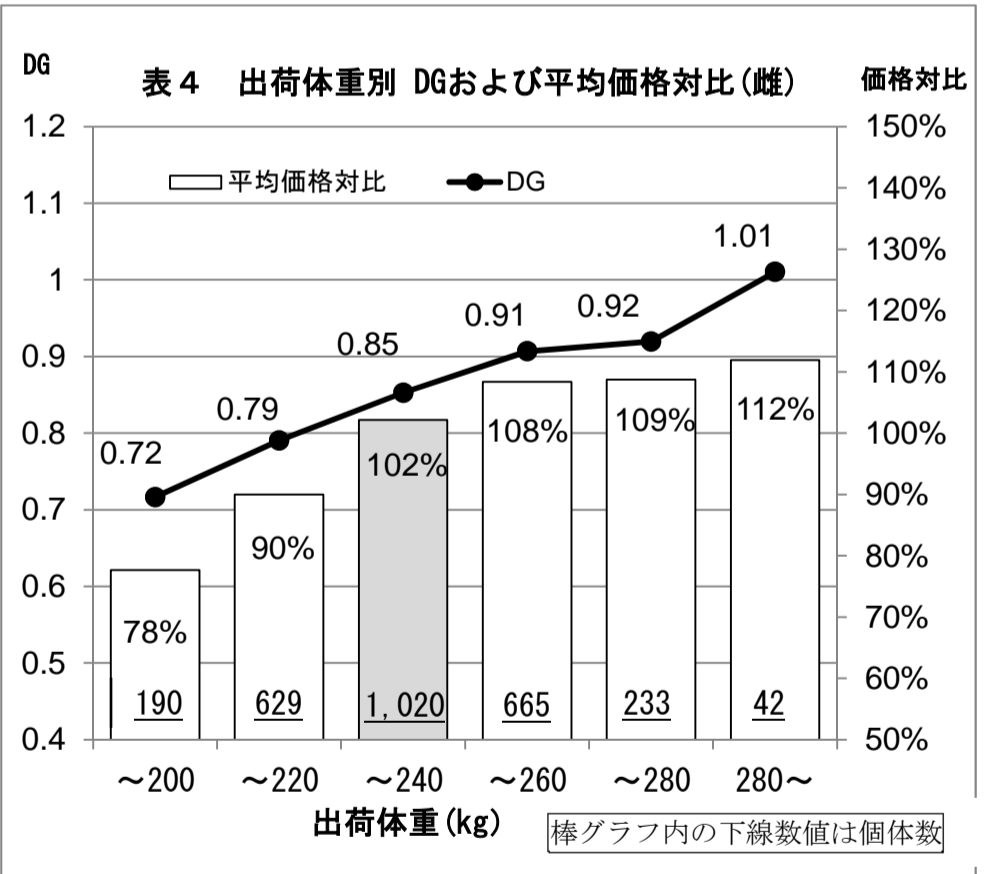
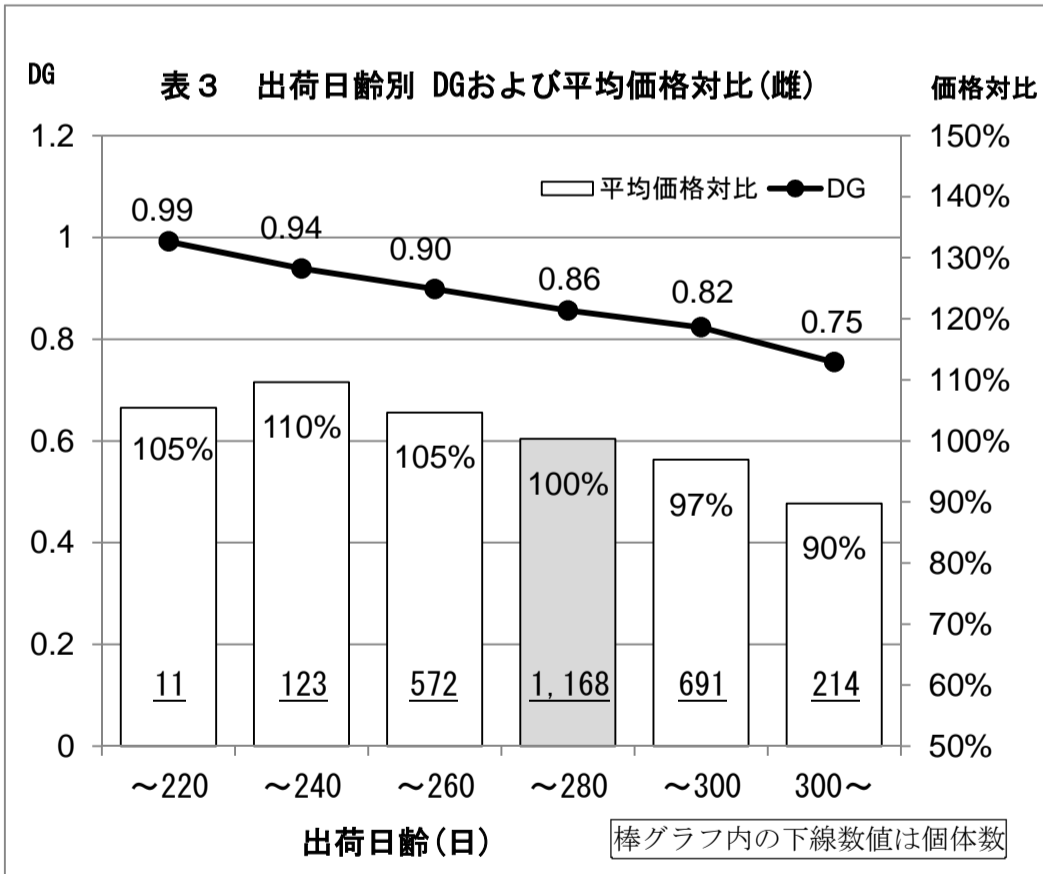
表2は集計期間における種雄牛割合を表しています。出荷日齢と出荷体重を考える上での前提にして下さい。

3 出荷日齢別および出荷体重別 DG と平均価格対比について

○出荷日齢が280日未満の個体では、平均してDGが0.86と良好な発育と安定した価格が確保されています（表3）。

○出荷体重で見ると220kg以下の個体では、極端に価格への影響が見られます（表4）。

○DGは出荷日齢が進むと低下し、出荷体重が大きいと上昇しています。



ポイント

☆雌の出荷目標は280日齢までに！遅くとも300日齢を超えないように！

☆出荷体重は240kg以上で日齢体重0.85を確保すれば、平均価格以上となりやすい！

語句説明

○期待育種価：種雄牛（父牛）と母牛の育種価を平均した育種価

○平均DG：出荷体重÷出荷日齢・・・例えば11月市に240kgの雌子牛を280日齢で出荷した場合DGは、0.857（240kg÷280日）になります。

○平均価格対比：販売価格÷市各の平均価格×100%・・・例えば11月市の販売価格が50万円で、その市の雌子牛の平均価格が40万円の場合、平均価格対比は、125%（50万円÷40万円×100）になります。